

提 言 書

平成24年 5月
UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）を考える会

UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）は、宇部市の戦後復興の過程で生じた都市環境改善、青少年健全育成を目指す市民運動を契機として創設され、その後順調に発展し、宇部市が緑と花と彫刻のまちと称される所以となるとともに、若手・中堅作家の登竜門としての評価が定着することとなりました。2007年の第22回展以降は、海外作品の募集を本格化し、国際的彫刻展としての性格を深めています。

その取り組みは、彫刻家や美術関係、都市計画関係の専門家等には高く評価されているものの、一部の市民ボランティアの活動を除き、一般市民の関心は十分とは言えません。

本会では、上に述べた宇部市の文化、歴史に深く根ざしたUBE ビエンナーレの意義を再確認するとともに、高まりつつある市民による活動を一層盛り上げ、市民に愛される、市民のためのビエンナーレとする方策について協議いたしました。

この結果、この宇部市ならではの貴重な財産を後世に継承するとともに、『笑顔あふれる「元気都市宇部」』創造の観点から、以下のとおり市長に提言します。

（提 言）

今後のUBE ビエンナーレ開催のスローガンとして、

「新たなスタート 世界一のUBE ビエンナーレに」

を掲げ、宇部市民、彫刻家、来宇者（市外からの来場者）に向けて明確にアピールするとともに、市民総参加で世界に誇れるUBE ビエンナーレとしての定着を図ることにより、UBE ビエンナーレのさらなる発展を図ること。

提言を具体的に推進する方法として、下記方策を提案します。

1 UBEビエンナーレの運営について

下記運営体制により、市民や関係機関との強力かつ効率的な連携のもと、UBEビエンナーレを運営すること。

1、UBEビエンナーレ世界一達成市民委員会の設置

- (1) 彫刻に関わるボランティアグループ等と連携するとともに、市民の意見を反映・集約し、UBEビエンナーレ、彫刻設置について広く議論を行う常設委員会を設置する。
- (2) 同委員会は、UBEビエンナーレ事務局、さらには同事務局を通じ、運営委員会に市民意見を提言するとともに、両組織と連携し活動する。

2、UBEビエンナーレ専任組織の設置

- (1) UBEビエンナーレ事務局については、UBEビエンナーレの運営及び関連業務の実施において、専門的で独立した権限、責任をもつ専任組織とする。
- (2) 業務の執行に十分な学芸員を増員する。

2 UBEビエンナーレのイベントについて

UBEビエンナーレのイベントについては、「教育」、「観光」、「普及」、「広報」の各項目において総合的にUBEビエンナーレの魅力を創造し、そのために彫刻単体だけでなくプラスアルファの楽しみを加えることで、「市民総参加で彫刻に親しめる仕組みづくり」に取り組むこと。